



9月も半ばを過ぎました。朝夕は涼しくなって来たものの、日中はまだ蒸し暑い日が多く、汗をかきながら体を動かして遊んでいます。熱中症や感染症などに気を配りながら、のびのびと過ごしてほしいと思います。

運動会に向かって

10月7日は運動会を計画しています。年長児や年中児は昨年経験しているので、「年長さんのリレー、かっこよかったね」「玉入れも楽しかった」と思い出し、ぐんぐんタイムの体操の後、クラスでかけっこをしたり、自由に玉入れをしたりしています。

年長児のあこがれはやはりリレー。登園すると早速バトンを持って園庭に飛び出します。好きな友達とバトンを渡して走っていたのが、だんだんその日のチームを決めて競い合うようになってきました。「こっちのチームは人数が少ないわ」と、人数を同じにしないと公平でないことに気がついたり、少しふざけてゆっくり走って「もっと手を振って走ってよ!」と友達に言われたり……。チームの友達とバトンをつないで走る面白さ、自分の力を出し切る心地よさを感じながらも、勝負を競うリレーの活動で様々な気持ちの葛藤を感じたりもしています。今年の年長児は人数が少ないので、運動会本番でリレーをするかどうかは未定ですが、遊びの中でリレーを楽しみ、自分の力を出し切る・チームで力を合わせる・チームで作戦を考える・勝つ嬉しさや負けたくやしさを味わう……。など、たくさん経験をしてほしいです。オープニングは、内容はまだ秘密にしておきますが、自分達でグッズを作ったり動きを考えたりして、自分達の運動会にしようという気持ちが感じられます。

年中児は、いろいろな場所へ出かけてたくさんの生き物と触れ合ってきました。その生き物の動き（跳ぶ、ジャンプする、バランスをとるなど）を遊具を使って表現して競争したいと、子ども達からたくさんのアイデアが出ました。「こんな風に跳ぶとトノサマガエルみたいじゃない?」「トンボの羽みたいに手を広げたらいい」など、毎日自分なりの動きを考えながら体を動かしていますよ。

年少児は初めての運動会。運動会に向かうというより、遊びの中で教師が準備した用具でトンネルくぐりやジャンプをしたり、年長・年中児の真似っこをして「よーいドン!」で走ったりし、友達や先生と体を動かすことを楽しんでます。これから、かけっこをしたり、玉入れをしたり、いろいろな動きをしたりしながら、「運動会ってなんだかおもしろそう」という気持ちがもてたらいいなと思います。

運動会を、子ども達が様々な経験をし、成長できる行事にしたいと思います。そのためには「子どもを真ん中にした」取り組みが必要だと考えます。「この競技は例年しているから」「教師が教えたほうが早いから」といって教師の考えで進めてしまえば、子ども達は「させられた」運動会になってしまいます。これまでの活動を生かして、子ども達のしたいことをじっくり聞いて子ども達の思いを取り入れた競技を子ども達と一緒に創ったり、「どんな運動会にしたいのか」子ども達の願いを受け止めながら、自分の、あるいは自分達の力が発揮できるように支えたりしていきたいです。



リレーを楽しむ年長児



生き物の動きで体を動かす年中児



ぐんぐんタイムで『一等賞体操』をする年少児

敬老の日に向けて

敬老の日になみ、毎年大好きなお祖父さんお祖母さんに手作りのハガキを出させてもらっています。今年も、各クラス趣向を凝らした可愛いハガキができました。ハガキが敬老の日が届くように、14日にみんなで近くの郵便局のポストに投函に行く予定にしていました。しかし、あいにくの雨模様。職員で「職員が投函するか、合羽を着てみんなで投函に行くか」話し合いました。子ども達の願いはもちろん「自分達の手でポストにハガキを入れる」こと。そこで、小雨になった頃を見計らってみんな合羽を着て出かけることにしました。ハガキが濡れないように、職員がビニールでしっかりくるんだり、ポストに入れる時には傘をさしかけて、子どもの気持ちが詰まったハガキを大切に扱うよう気を配りました。自分でポストに入れた子ども達はとても嬉しそうでした。ハガキを投函して園に帰ると、みんなの長靴やズボンなどは濡れてしまっていました。年長・年中児は「濡れたズボンは着替えよう」と言いました。濡れた長靴は、前回の園長だよりに載せたように、あの時の子がまた「新聞紙を入れるといいよ」と言いました。教師はその言葉を予測して新聞紙を適当な大きさに切って準備しておいたので、自分達で自分の長靴に新聞紙を詰めました。濡れた長靴の始末をし、濡れた服の着替えをして心地よくなった子ども達は、「おじいちゃんおばあちゃんのところに、ちゃんとハガキが届かなあ」「喜んでくれるかな」と思いを馳せていました。

今の世の中、便利になり、いかに手間をかけず、いかに快適に過ごすか、という流れがあるように思います。大人が先回りしてしまうこともあります。しかし、これから成長していく中でいざ困難なことに直面した時に「気持ちよくないから」「面倒くさいから」といって避けて通ってばかりはいられません。ちょっと大変なことでも自分の願いのために頑張る気持ちをもったり、危険回避能力を身に付けたり、気持ちよく過ごすために自分の身の回りのことを整えたりする力は、とても大事だと思います。その一つとしての雨の日のハガキ投函。様々なことを肌で感じ取ってくれたのではないのでしょうか。



地震時の避難訓練・マメールによるお迎え訓練をしました

15日(金)は、子ども達と地震時の避難訓練、保護者の方とマメールによるお迎え訓練を実施しました。午後、各クラスで過ごしている時に急に大きな音がし、担任の「地震だからしゃがんで頭を手でおおって!」という指示に、子ども達はびっくりしながらも静かに待機することができました。その後、地震が収まったという想定で園庭に避難し、私の話を真剣に静かに聞くことができました。一方では、マメールを使って地震を想定したお迎えの連絡をしました。メールを見て指定した場所へお迎えに来ていただいたり、仕事等で参加できない方はメールを見たことを園に連絡を入れてもらったりしました。ここ近年、各地で甚大な被害の出る災害や痛ましい事件などが増えてきています。もしもの時のための訓練をしっかりと行って、子ども達の安全を守っていきたいと思います。この機会に、ご家庭でもぜひ、スムーズに連絡が家族中に行く方法などを話題にしてみてください。

島根警察音楽隊による演奏会に参加しました

20日(水)は、県警音楽隊の演奏会にご招待いただいたので、給食後、全園児でバスに乗って平田文化館へ出かけました。平田幼稚園は全園児で参加しました。平田保育所とみなみ保育所の年長さんも参加されました。地域の方もたくさんいらっしゃっていました。『線路は続くよどこまでも』や『秋のメロデー』などの童謡から昭和の歌謡曲まで、幅広いジャンルの曲を演奏されました。間近かで聴く迫力のサウンドに子ども達は、引き込まれたり、手拍子をして一緒に楽しんだりしていました。交通安全や不審者対応などの話も交え、1時間がアツという間に過ぎました。最後に平田楽園クラブさんからボン菓子のおみやげもいただき、とても素敵なひと時となりました。

